神呪のネクタール
しんじゅ
14
原作
吉野弘幸
漫画
佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

吉野弘幸

この巻に収録されている話を書いているころ右親指の腱鞘炎になり、対策として自作キーボードに嵌まったんですがこれが中々楽しい。人間万事塞翁が馬。

佐藤健悦

引っ越しや所蔵スペースの限界で、所有欲を焼き払いごっそり本を処分する。部屋がスッキリ…したのも束の間、結局また読みたくなって買いなおす。以前見たことある本が周りに積まれて壁をなす…みたいな二度手間をいまでも繰り返してます。何度目かな…。

[装幀] Rdesignstudio

神呪のネクタール⑭
〈原作〉吉野弘幸〈漫画〉佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

前巻までのあらすじ

ヤムリカ女王に接触すべく苦心惨憺するカイ。ひょんなことから、敵国であるダーラ軍人のエドゥ・ビクトリアスと知り合い、ヤムリカに引き合わされる。ダーラは、遊牧民（ノマド）の反乱を扇動しつつ、一方でシンシャール王宮と通じていたのだ。一時は拘束されたカイだが、ギル=ガーラの手助けを得て、グレイ少佐としてヤムリカへの謁見に成功する。だが、ダーラの撤退により、シンシャール王宮に反乱が迫る…!

シンシャール
帝国

登場人物

カイ・ワタリ

異世界に召喚された“稀人（マレビト）”。“呪乳（ネクタール）”の力を得て、無敵の戦士に変身する。アルビオン軍人グレイの姿を借り、数々の軍功を立てる。

サクラ・シャクンティーラ・アドニエラ

ダーラ共和国に滅ぼされたアダール侯国の姫。乳房に神秘の力を宿す“神妃（アンブロシア）”。アダール再興を目指し、カイと行動を共にする。

アルディア

砂漠の遊牧民（ノマド）のザバル族を率いる族長。強く美しい女性。心ならずも遊牧民の暴動を率いるが、銃撃を受け記憶を失ってしまう。助けられた娼館でカイと出会い…!?

ヤムリカ女王

シンシャール帝国女王。傲岸不遜で暴食と色欲にまみれた生活を送る。政治を省みないその姿勢によってシンシャール全体に不満をつのらせ、反乱を招いてしまう。

目次 CONTENTS

初出／チャンピオンRED2022年3月号～8月号

第60話／蘇りし想い

アル…ディア…？
!!?
無事だったのですか!? 姫!!
狙撃されて河に落ち
もうみんな諦めていたというのに…
狙撃…？
河に落ちたって…
ドクン

…私…は…

キュピーン
ハッ

なるほど…！
実は君が助けて秘かに
匿っていたのだな！
ギル!!
カッ
違う

アルディアというのですか？
ネーヤは…
この娘は
大怪我をして
記憶を失って
いるんです
記憶喪失!?
おお
道理で…

容姿が似ているとは思ったが
態度があまりにも違ったので
無意識に可能性を除外してしまっていた…
アルディアは俺の古なじみで遊牧民(ノマド)の有力な族長の一人だ

どういうことだギル!!

いやグレイ貴様の仕業か!?

……っ!!

なぜ遊牧民(ノマド)の族長がこのバルアラ宮の敷居をまたいでおる!!!

妾(わらわ)の命でも狙いに来たか!?

どいつもこいつも妾を愚弄しおって!!
誰ぞある!!
ここにいる者共を全て捕えよ!!!
並べて首を刎ねてくれる!!!
王よ!!
一大事です!!
分かっておる!!
だから早くこの者共を引っ捕えよ!!
そんな場合ではございません!!
さきほど第二城門が開かれ——

遊牧民軍が第二城郭内に侵入を開始しております!!!

なっ…遊牧民が!!?

突撃——ッ!!!

まだ全ての兵が裏切ったわけではございません!!
急ぎ兵をお出しください!!

王たる妾を…
かちくどもっ…
ノマドの女とっ…うらぎっ…
ぎっ…
ぎぎぎぎぎ

ピタ
陛下…?
ユラ

ぐえっ!!
ヤムリカ様!!?
陛下っ!!
ひいい…
脈が早鐘のようです
おそらく興奮が限界を超え
頭に血が上りすぎたのでしょう
何をしている医者だ!!
はっはい!!
ピク
ピク

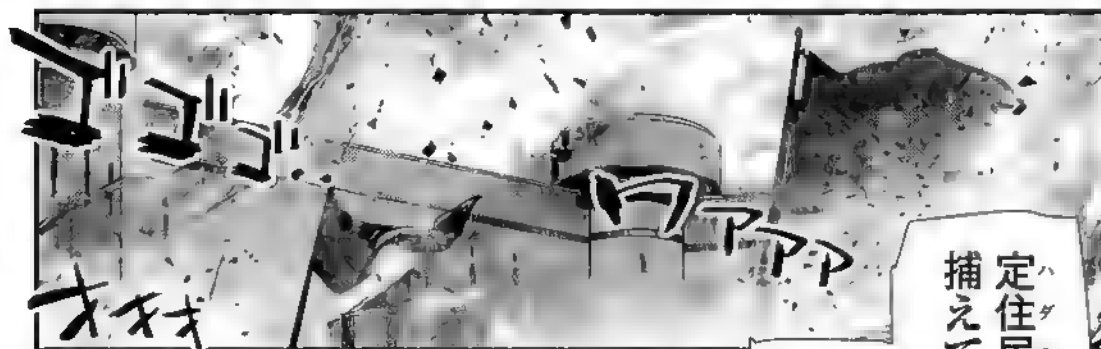
待つんだ!!
!?

君が最高位の文官か?

なら女王の名でただちに兵を出撃させろ

侵入した遊牧民(ノマド)たちは
おそらく貴族には容赦しない
このままでは略奪や暴行——

最悪
虐殺が始まるぞ
わっ…
わかりました!!
ダッ
略奪…
ドクン
暴行…
ドクン
止め…ないと…
ドクン

ワァァァ
ゴゴゴ
オォォ

定住民(ハダル)の貴族を捕えてふん縛れ!!
広場に集めるんだ!!

ぎゃアア
きゃあああ
うわああ

どうした
どうした!?
シンシャールの
貴族様は
剣も持てぬのか!!?
ひぃぃっ…!!
もっとある
だろうが!!
金目のものは
全部出せ
抵抗したら
殺すぞ
いいな!!
ザキ
ギャアア
ワアア
…ああ…ああ…ッ

どうしてこんな……
遊牧民(ノマド)は
誇り高い民……の
はず……なのに……
きゃあああ――ッ!!!
!!!

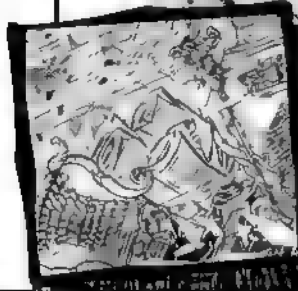
ドクン

ドクン

アルディアさま!!

ドッ…

クン

ー!!!

ズザッ
やめろっ!!!
!!?
なんだこの女!!
黙れ
お前も貴族の仲間か!!
シュル
それでも誇り高き遊牧民か!?
生涯多くの女を愛し
その全てを守り通したラーフの教えを忘れたか!!!

な
なんなんだお前…!?
我が名はアルディア
ザバル族の長
ロンガの息子シギルの娘
アルディアだ!!!

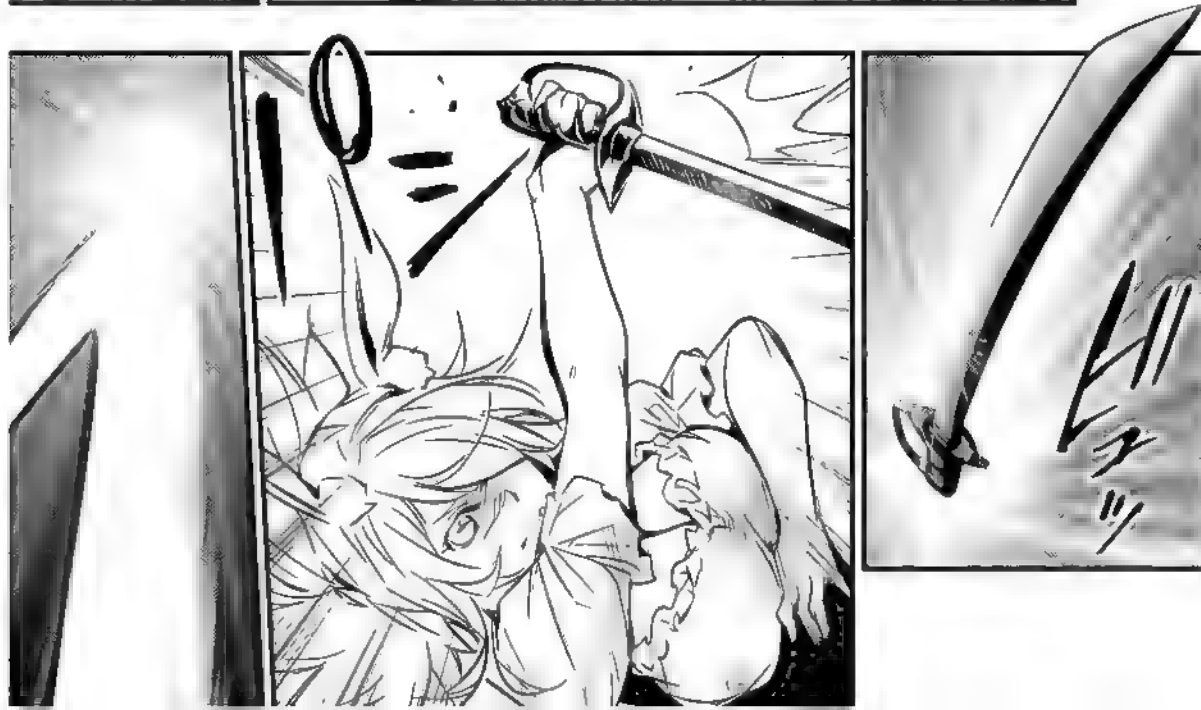
砂漠の風とラーフの名にかけて
これ以上の狼藉は容赦せんぞ!!!
だ…だまされるな!!
アルディアは死んだ!!
そうガマル様が言ってたんだ!!
それに誇り高い砂漠の女がこんな格好するわけがない!!
威勢はいいが
所詮丸腰だ
…

やっちまえ!!!

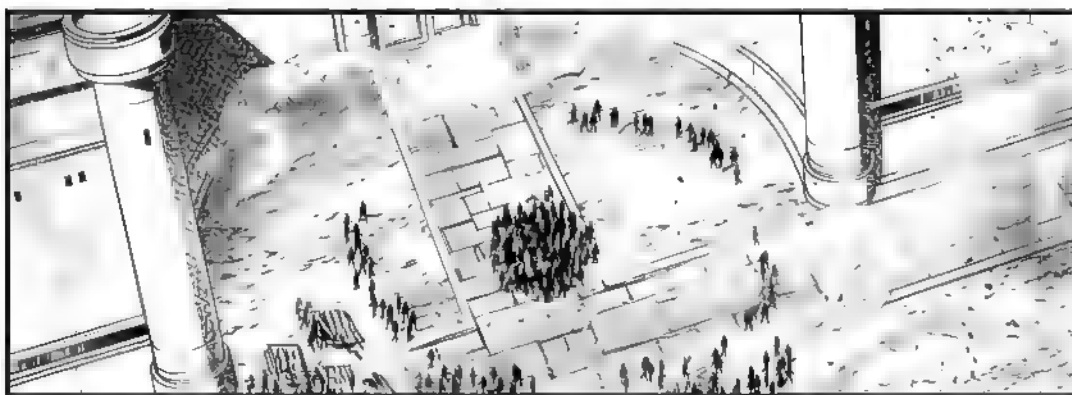
ネーヤ!!

!!

ぐっ!!
があっ…!!

いまのは
峰打ちだが
…抵抗すれば
どうなるか
わかるな
ビュッ
くっ…
答えろ
ガマルは…
族長たちは
どこにいる？
…知るか
ザッ
っ!!
ひっ…
広場だ!!

第三城郭に入る門の前の広場に貴族を捕えて集めてる!!
きっとそこだ!!
よし
ゴガッ
ザッ
剣を投げてくれて感謝する
いや君が持っていてくれ
受け取ってからの流れるような一撃
凄かったよネー…いやアルディア姫
姫はやめてくれ
カイ

なら
俺もこの格好のときはグレイと呼んでくれ
アルディア
……
まじ…
アルビオンの軍神グレイの噂は聞いたことがあったが…
それがまさか
娼館の料理人だったとはな
君こそ遊牧民の勇猛なる女族長が
あの可愛らしいネーヤだったとはね
可愛…っ!!?
かっ…からかうな!!
いや本気だ
ニコ

ボッ
……!!
だから
からかうなと
言ってるだろうが!!
まったく
お前は…っ!!
っ
とにかく
広場だ
スタタ
急ぐぞ!!
?

へっ…
こうして見ると
こいつらの方が
家畜みてーだな

いい気味だ

充分に
数が揃いましたな

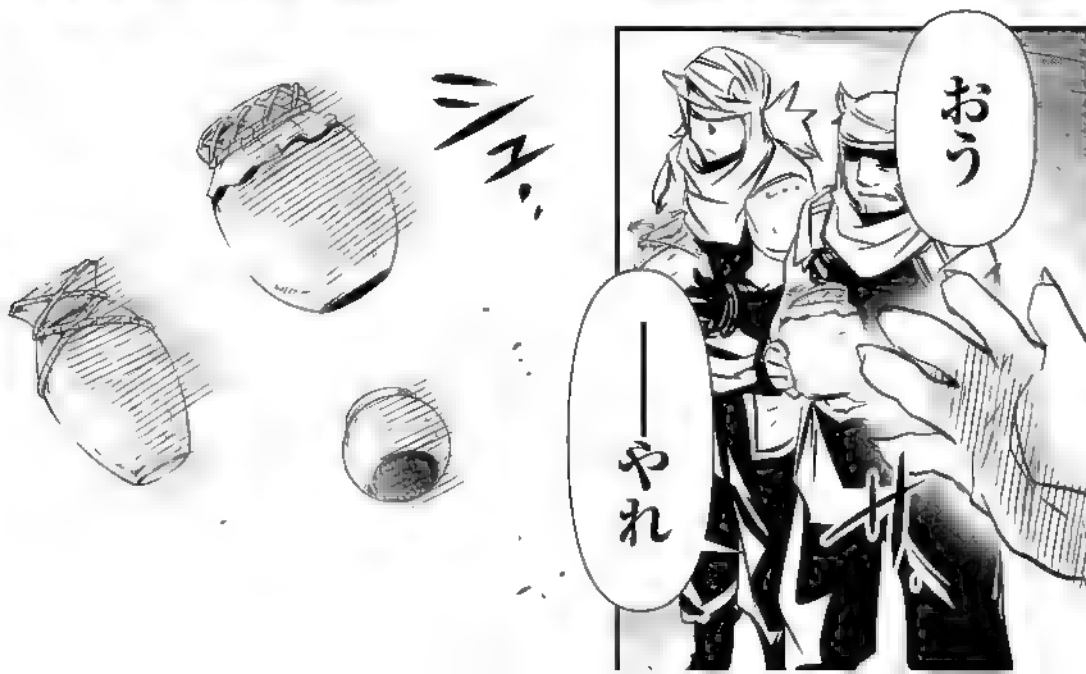
ザ
チラ
観客も揃ったみたいだぜ
……では
予定通り始めよ
おう
シュ
──やれ

バシャ
ガシャ
きゃっ!!
バシャ

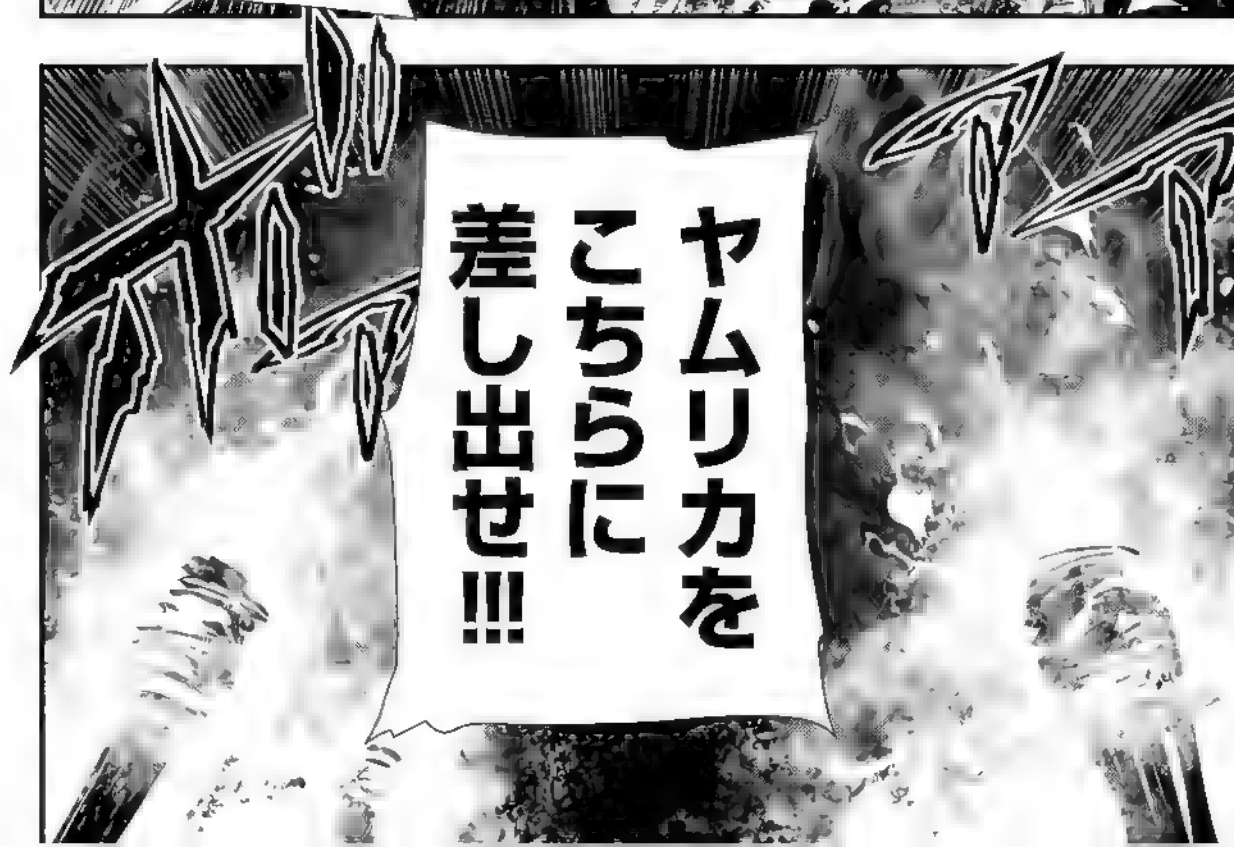
これは…まさか…
ボタ
グシ

燃える水だ
!!!

本当は火矢に使うつもりだったのですが門を開けていただいたので

しかし折角準備したものですし
有効活用しようというわけです

聞け!!! 定住民(ハダル)の豚どもよ!!

いま人質たちに燃える水をぶっかけた!!!

要求を聞かねばこいつらは火だるまだ!!!

ヤムリカをこちらに差し出せ!!!

第61話／砂の神の化身

グレイ
ガマルたちは集めた人質をどうするつもりだろうか
タタ…
やはり…広場で処刑を…？
いやしばらくは大丈夫だろう

わざわざ集めたというならすぐに殺しはしない
おそらく彼らの目的は――
タタ
いま人質たちに燃える水をぶっかけた!!
ヤムリカをこっちに差し出せ!!
さもなくばこいつらは火だるまだ!!!
ザザッ

やはり…
人質にして交渉材料に使うつもりか…
太陽が中天に昇るまでは待ってやる!!
それまでに要求が呑まれなければ火を放つぞ!!

やめさせるッ!!
駄目だ
放せっ!!
こんなやり方は
ぜったいに許せない!!
憤る気持ちは
わかる
だがいきなり
君が飛びだしたと
しても
彼らも
もはや引き退がる
ことはないだろう
なら
どうすればいい!?

考えるんだ

グッ

この世界は…人の命が軽すぎる

戦争なんか軍人や兵士がやればいい

なのにいつも多くの民が巻き込まれ

その命が散らされてゆく——

俺はもう
そんな光景は
見たくないんだ
虐殺など絶対に
させるものか…!!!
カイの手が
熱い…
怒りを必死で
呑み込んでいる
みたいだ…

でも
だからこそ——
多くの人の命が
掛かっているからこそ
俺たちは
冷静になって
考え抜かねば
ならない
特に
人の上に立つ
人間は
——そうだろう？
アルディア姫

カイ……
お前は……!!
わ…わかった
わかったから
放してくれ
カ…グレイ
あっ
ごめん…
…………
パ

だが正午までそう時間はないぞ
わかっているよギル＝ガーラ
…………
俺が見たところ

なっ
なんだグレイ
どきっ
仮にヤムリカが
処刑されたとして
砂漠しか知らぬ
遊牧民が
定住民の住む
この石造りの都を
きちんと統治
できると思うか？
……!!
それは──
…正直
難しいと思う
我々は砂漠の
水場や羊の
飼い方は知って
いても
石造りの国を
統べる方法
など
誰も知らない

おれの世界の
歴史でも
為政者を処刑して
建った革命国家や
クーデター政権は
簡単に安定しない

多くの場合
それは更なる
流血を引き起こす――

グレイ少佐

わたしにひとつ考えがあるんだが

聞いてくれるか？

そこを通して下さいシエラさま!!

なりません!!

なぜ庇うのですか!?
貴女も初の謁見の折はさんざん嬲られ蔑まれた筈――
それにこの女は欲望に溺れ政治を蔑ろにした愚王です!!
敬うに値しません!!
お願いしますシエラ様!!
広場の人質には私の家族もいるのです…!!
それでもだめなのです
シエラ様こうして助勢していますが
正直私にもわかりかねます

なぜそこまでしてあの方を庇うのですか？
それは……その個人の能力とは関係なく
王はその存在そのものが〝要〟だからです
国という形を維持するための
要…？
要を失えば国は形を失い混乱に陥るでしょう
それは丸裸で路頭に迷う幼子と同じ――

植民地競争に明け暮れる列強や近隣諸国にとってこれほど与し易い相手がいると思いますか⁉
!!
ネレイアは国の形を失ってから長い間
ダーラの植民地支配に甘んじていました
いま王を失えばシンシャールも同じ道を歩むことになります‼
他国への隷属があなた方の望みですか⁉

グレイ少佐がいます!!

少佐は…我がネレイアを救ってくれました

数々の国で

戦場で

多くの命を救ってきた——

信じて下さい

少佐たちなら必ずなんとかしてくれます!!

王宮… 動かねぇな やっぱり

ねえ

本当にこれで いいのかな アルディア様が いたら きっと——

わかってる!!

でも アルディア様は もういないんだ

……っ

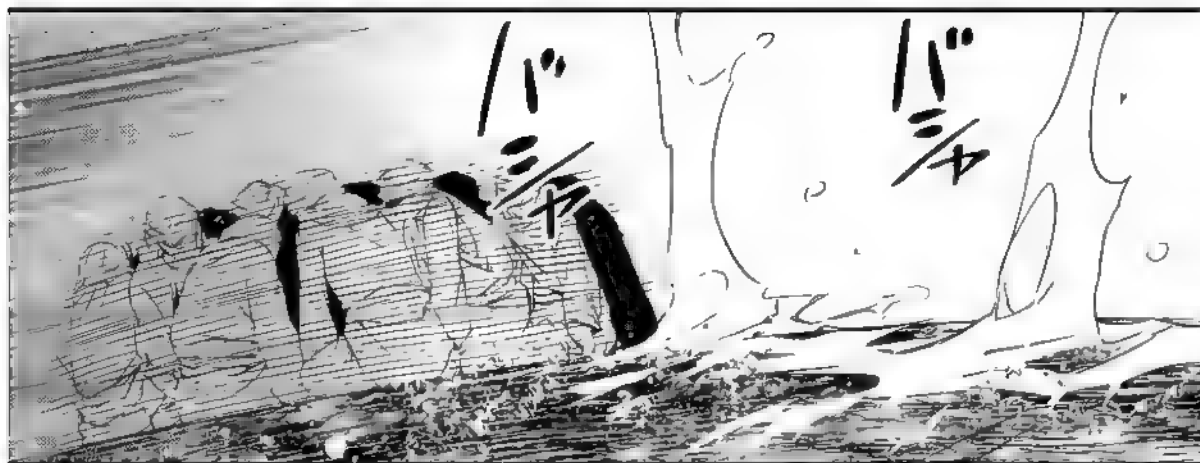
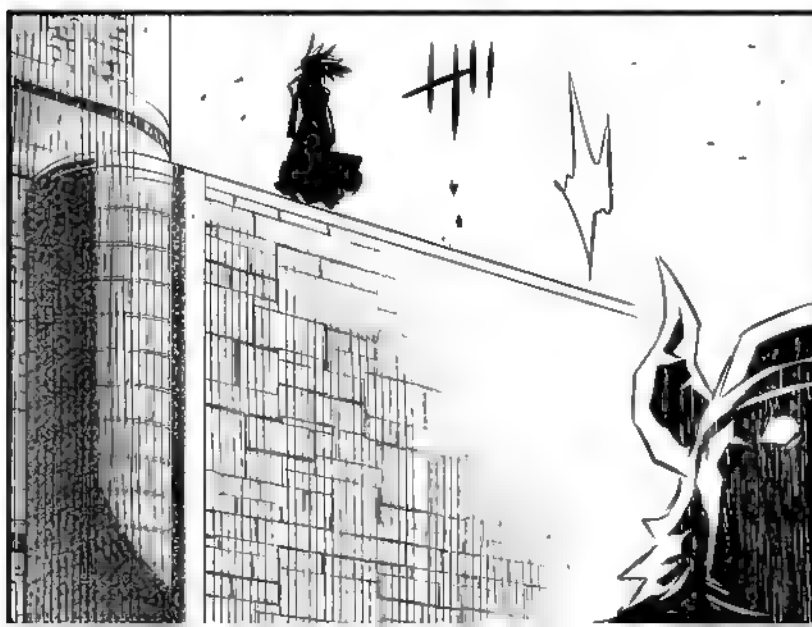
カァッ

ここまでじゃな

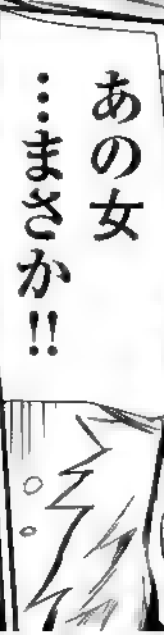
バシャ
バシャ

ビシャ

これに火をつけたら――
ゴク

聞け
定住民（ハダル）ども!!

時間切れだ!!
こいつらを殺すのは俺らじゃねえ
要求を無視したヤムリカたちだからな!!!

火を放てば
其の者たちを殺すのは我ら遊牧民(ノマド)だ!!
責任を押しつけるな!!!
あ…ああ…っ!!
アルディア様…!?
お前…生きてやがったのか!?
私自身 一度は死んだと思ったさ
だが砂漠の風に導かれ
こうしてまた皆の前に立つことができた

族長たちよ!!!
この所業(しょぎょう)は なんだ!?
戦う力も 意思もない ものを 見せしめに 殺すのか!?
我ら砂の民は
誇り高い民族 だったのでは ないのか!?
我らが神 ラーフに 恥じるところは ないのか!?
黙れ!!
お前が失(う)せて いる間に状況が 変わったんだ
もう俺たちは 退くつもりは ねえ!!

ならば!!
カイ 頼む!!
アイツ…
カイさん!?
この所業に恥じるところがないというなら
直接尋ねてみるがいい!!

我らが神たる
偉大なる
ラーフに!!
!!?
あの女
…まさか!!
……

砂漠の風に
導かれし者よ
我が乳房に
宿る神の呪いを
いまお前に
授けよう──
んっ…!!
ふあっ…っ
んくっ…
はむっ

あ……
ああーーッ……ッ!!!
ドクッ
ズクンッ
ズクンッ
ぷるん

メクァア
アア

あれが…我らが神――

ラーフ…!!!

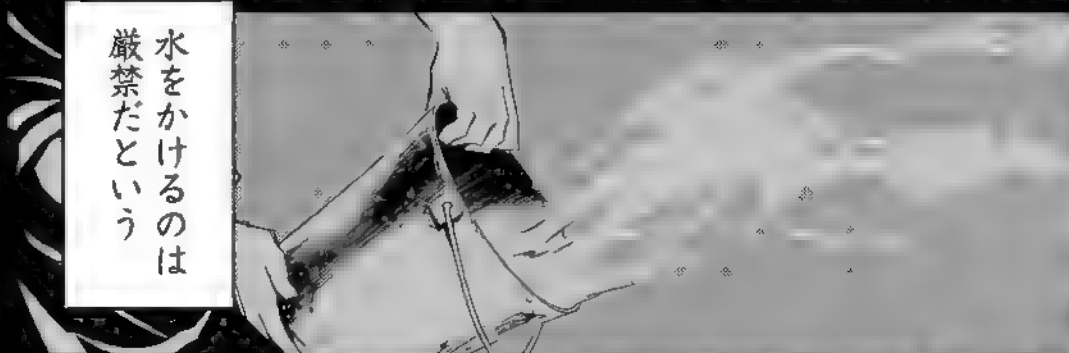
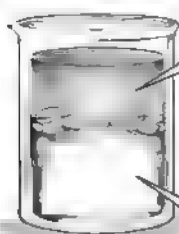
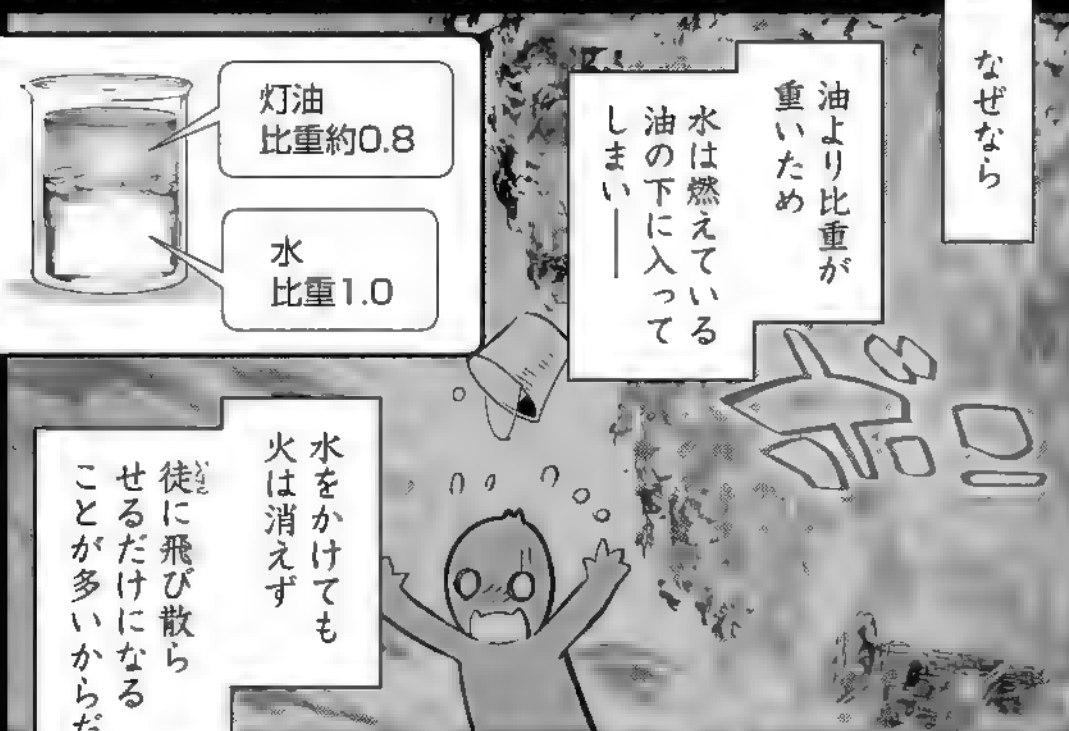
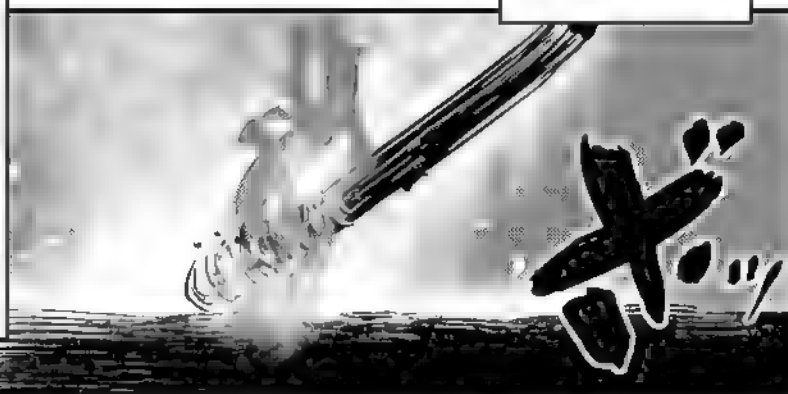
恥じるところなくば申し開いてみろ!!

さもなくばラーフの裁きが下るぞ!!

くっ…
やれ
!!?
あれは所詮似姿
紛い物よ!!!
何を畏れることがある!!
火を放て!!!
我ら遊牧民の決意を示すのだ!!!
ひっ!!

ボ‥ッ
!!!
ズバァァ

第62話／獣の咆哮

灯油や油に
火がついたとき——
水をかけるのは
厳禁だという
なぜなら
油より比重が
重いため
水は燃えている
油の下に入ってしまい——
灯油
比重約0.8
水
比重1.0
水をかけても
火は消えず
徒に飛び散らせるだけになる
ことが多いからだ

木や紙などの
可燃性物体による
火災と違い
爆発的な
燃焼力を持ち
水では消せない
油による火災
ゴォッ
泡などによる
化学消火剤が
開発されるまで
その消火は
非常に困難
だったという――

炎が……!!!
ジュバアア

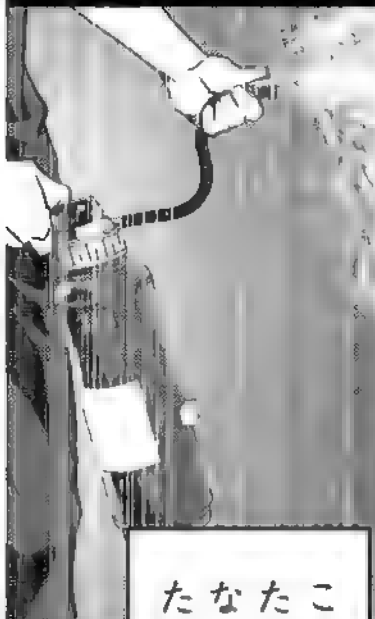
!!?
カイ!?
これは…
砂!?
火がっ!

いやあああああ――っ!!!

えっ……!?

人質が…

砂の像になってる…!!?

ケホ
ケホッ
ザラァ
ザバッ
ハァ
ハァ
!!!
すごい…
誰も火傷(やけど)すらしてないぞ…!!
サァァ
……ッ!!
馬鹿な…ッ!!
ギリ

水では消せない
ガソリンや灯油
による火災
これに対応する
ために20世紀に
なって開発され
たのが
泡などによる
化学消火剤である

石油を被った人々の表面を
微細な砂の皮膜で覆って酸素の供給を断ち
パラ…
爆発的に燃え広がろうとした炎を一瞬にして消し去ったのである

見たか!!

砂塵を操り
人々の命を救う!!!

これが我らの
神の力だ!!!

遊牧民(ノマド)も
定住民(ハダル)も
共に
ラーフを崇(あが)める
等しき民!!
彼は両者の
争いを望んで
いない!!
即刻人質を
解放し
和平の道を
探れ!!
それが神の
ご意思だ!!
逆らえば
神罰が
下るぞ!!!
……!!

笑止(しょうし)
!!!
族長の位を継いだばかりの小娘が
恥ずかしげもなく乳を晒(さら)し――

どこの駱駝の骨ともわからぬ定住民の男に神呪の力を与え
さらに神意を騙るとは!!!
まさに不敬の極み!!!
笑止千万とはこの事だぞアルディアぁあッ!!!
ザゼル翁…ッ!!

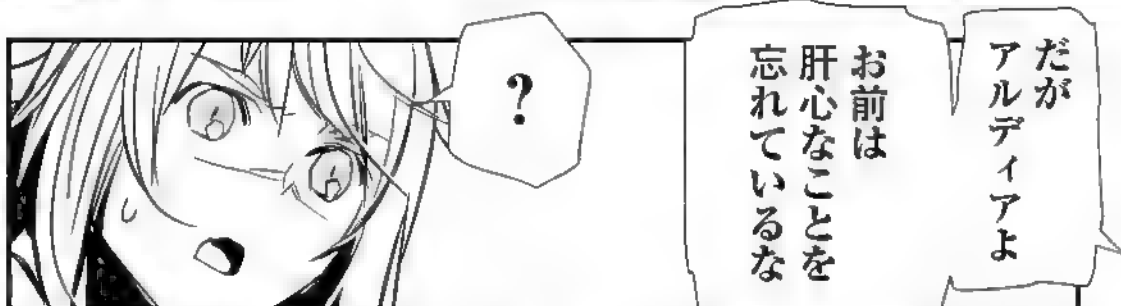
あれは所詮
神の力と姿を
借りた紛い物よ!!
ヤムリカを討ち
砂漠を我ら
遊牧民の手に
取り戻すことこそ
ラーフの意に
適うと知れ!!
アルディア様…
ザゼル翁…
こんな…
どうすれば
……?

ガ　ガマルさま…
何をしている　ガマル!!
火を放てぬなら　直接討つがいい!!
い…いや　だ…
似姿でもあの力は　本物だ!!
おれ…俺は　神と戦うのは　イヤだ!!
そうだよ!!　アルディア様の　言う通りだ!!
いくら貴族でも　抵抗しない　人質を殺す　なんてぜったい　ラーフがお許しに　なるわけがないよ!!

そうだ…
俺も もうこんなのは いやだ
早く 砂漠に帰りたい…

やれ……
遊牧民(ノマド)も弱くなったものよな…

だがアルディアよ
お前は肝心なことを忘れているな
?

お前は
神妃(アンブロシア)として
確かにラーフの花嫁の力を受け継いだ
だが同じように
族長会議の長にもまた――
受け継がれる力があることを忘れたか!?

ラーフは砂漠の神

…と同時に我ら砂漠に住まう獣人族の長でもある…!!

いまこそ見せてくれよう!!

ラーフより与えられし

ドン
獣の民を統べる力を!!!
バッ

獣化…!!
そうだ…ザゼル翁は純血種のセリアンスロープ……!!
ズァ

ラーフ第一の使徒であり

また乗騎であった
〝神獣ハルドラ〟の血を継ぐ者
………!!!

ルオォォォォォ
……!!
なんだ この声…!? 直接 頭の中に響く ような

ルォオオオォォオオオ
がっ
カシム!?
ドクン
ガマル様!!
ぐ…ラ…あ…
ドクン
ググ
ドクン
バッ

ガァアアアア
バキ
ギョロ
あ…ああ…っ
ドク
おかあさん!!
ドク
まさか
獣化した
族長の能力
は——
ヴオオ
ネオォ

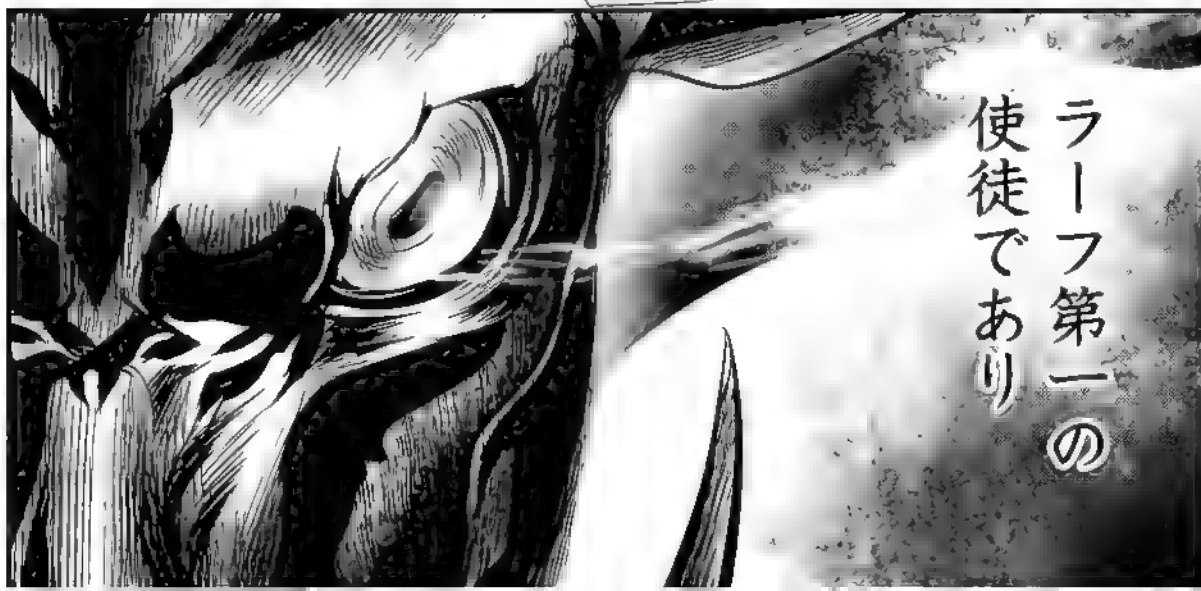
……獣の民を統べ意のままに御(ぎょ)する力……!!?

然(しか)りよ

オオオオオ

我が〝原初の咆哮〟は

人々に眠る獣の血をたぎらせ

かき立てる…!!

ギン
——それは
アルディア
貴様のように
既に純血を
失いし者も
同じこと!!
!!!
くあ…っ…
ううう…ッ!!
ドクン
血が滾る…!!
からだが
あつ…い…!!
ドクン
あああああ
ビリィ

アルディア!!
ドクン
助けて…カイ…
このままじゃ…わたし…は…!!
ドク…ッ
耳を塞げ!!
咆哮を聞くな!!
ギッ

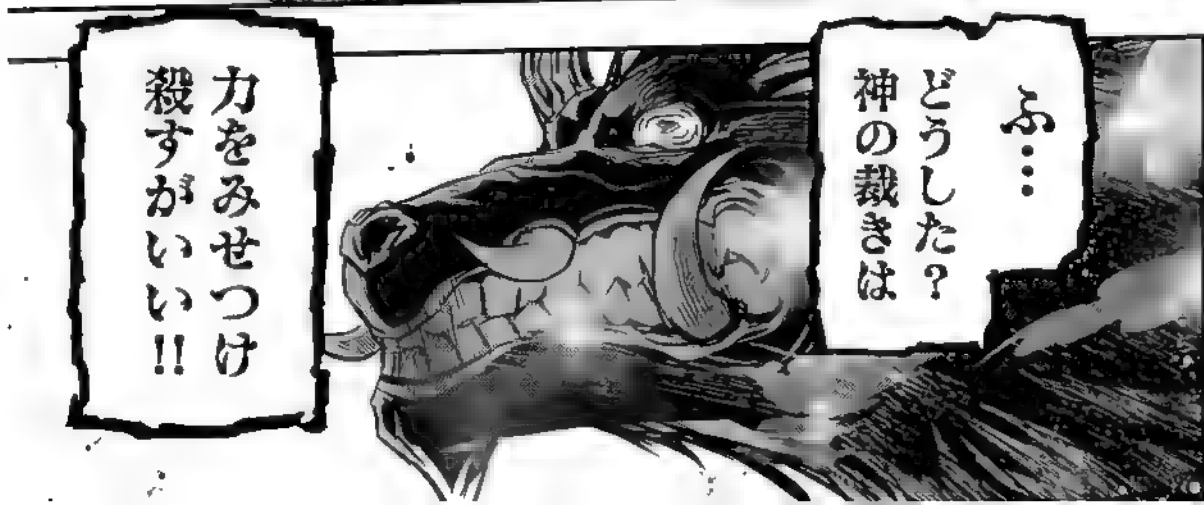
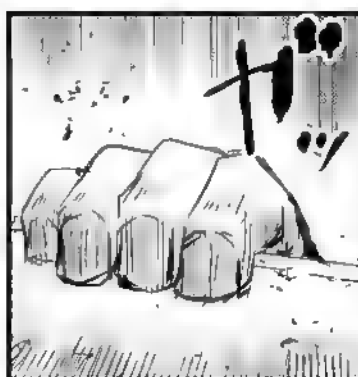
第63話／神獣の凶角
ガァァァァァァァァァ
アルディア!!
完全に
獣の意識に
乗っ取られたか
……!!

見よ
ガッ

いまこの場に居るのは我ら獣の民ばかり……
全てが貴様の敵だ ラーフを騙る紛い物共め……!!
グルル…

かかれッ!!!
ダダ
ギャギャッ

……ッ!!

ビタ
やめろ
いまの主殿では
殺してしまうぞ!!
ふ…
どうした?
神の裁きは
力をみせつけ
殺すがいい!!

く……
呪装した主殿がやられることはなかろうが…しかしこれでは……

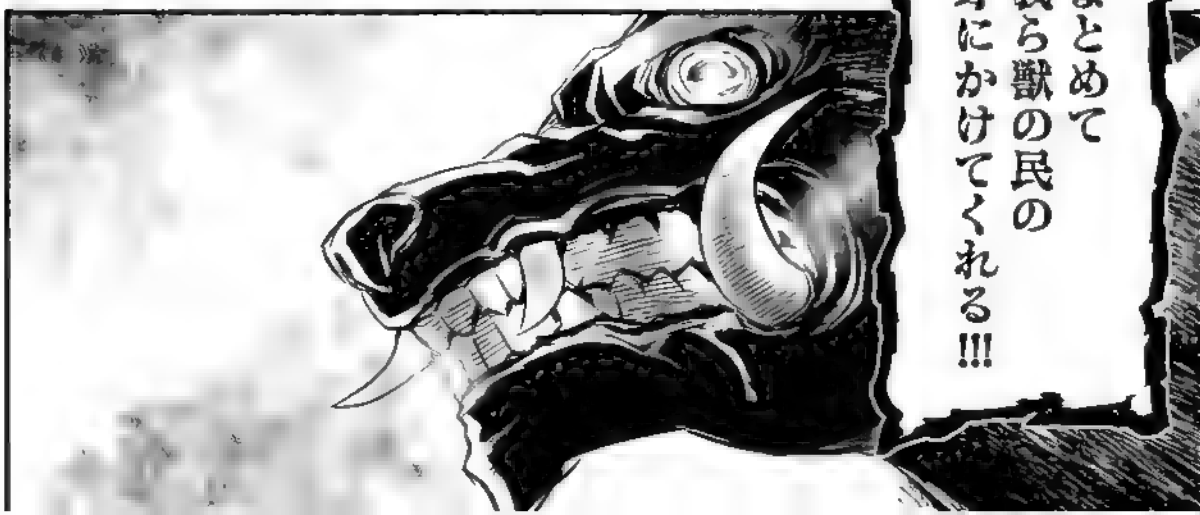
しまった!!
!!!

ビクトリアス…!?
なぜお前が…!?
ザリッ
フィイイ
グレイ少佐は敵だけど
カイ君には恩があるからね

ただ僕らにできるのは防ぐことだけだ

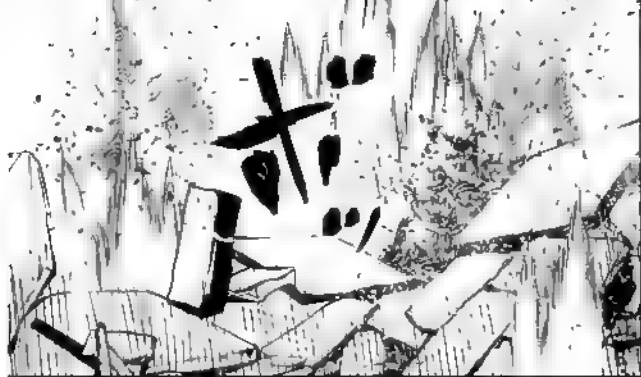
その間になんとかしたまえ!!

ダーラのペテン師まで
しゃしゃり出て
きおって…

ダッ

まとめて
我ら獣の民の
牙にかけてくれる!!!

——遊牧民(ノマド)でも貴族でも
ここで一人でも殺せば
遺恨が残るぞ
何か…手はあるのか!?

ビキキキ
ビキッ
ミシ
ボゴッ
ズガガガ
石畳が――
崩れて砂に!!?
ザザァアア
イイイイ

ギュバ

ズブッ
『浮遊懸濁化』という現象がある――
極小の粉や粒で構成された『粉粒体』と呼ばれる物質は
その内部に空気を送り込むと相変化して――
ガッ!?

液体のような挙動を
示しはじめるのだ
ドプン

なんだ これは…!?
砂がまるで水のように——!?
カイはラーフの力を使い石畳を砕いて粉粒体にすると
その下にある砂の層もろともに空気を送り込み——
この浮遊懸濁化を引き起こしたのだ
なんて光景だ
獣人たちが皆砂で溺れている…!!

ズボボ
クッ…ッ!!!
ヒュ
シッ
ズ
すごいぞ
ガキ
これで嵌まった連中はもう身動きが取れない…!!
ガ
ツ

貴様……!!
バッ ガッ
ビュオ
ゴバァアア

ズザアア
ギュアアア
粋がるな!!!
!!!
若造めがッ!!!

──我が神獣としての力
バヒュッ
バキ
思い知るがいい!!!

ドドドドドドドド
呪装の主殿がここまで苦戦するとは…!!
ガラララ
ドシャ
……ッ

このままじゃジリ貧だ!!
凶暴化した獣人を増やされたら足止めも無意味になる!!
ザリ
く……
〝角〟を狙うのです主さま!!
シズナ!!?

遊牧民(ノマド)の聖地に赴(おもむ)き
彼らに伝わる伝承を聞きました
ハルドラの弱点はその巨大な角です!!!

……!!
余計な事をォォ…
ゴバァア
ギリリ

主さま
シズナが一瞬だけ隙を作ります
──その隙にどうか
ドッ

一度きりです
アイイイ
——砂漠のこの気温で二度目はありません!!
コオオオオオ
ピキ
ピキ
シュアアア
グッ…!!
モア
モウ
ツ

ヒュン
……!!
ヒュン
クァ

ズガガッ
ぐ…!!
貴様 放せっ!!
我が背を預けしはラーフその方のみ!!

貴様のような
紛い物など――
ドドドドド
ドシャアアアッ
……!!

ギギ

〈第64話〉

ズシャアッ
凶暴化が止まった…！
シュウウウ…
く…ッ
まさか紛い物に…我が力が敗れる…とは…
ガラ
やったか…!!
ああ——…

カイ君の勝利だ
第64話／
戦火の向こうに

う…
パチ…
大丈夫かい？
アルディア
私は…
がばっ
みっ
みんなは
どうなった⁉
ザゼル翁は⁉
火をつけられ
そうだった
市民たちも――
がしっ

アルディア!!
むっ…胸っ!!

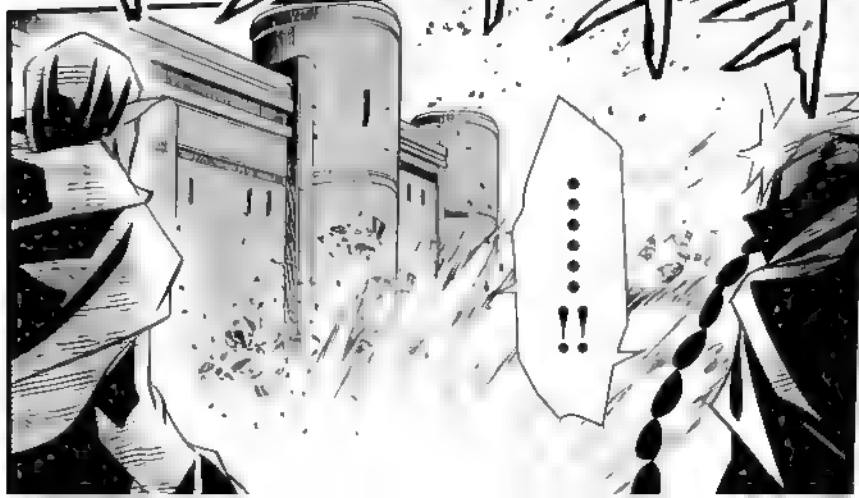
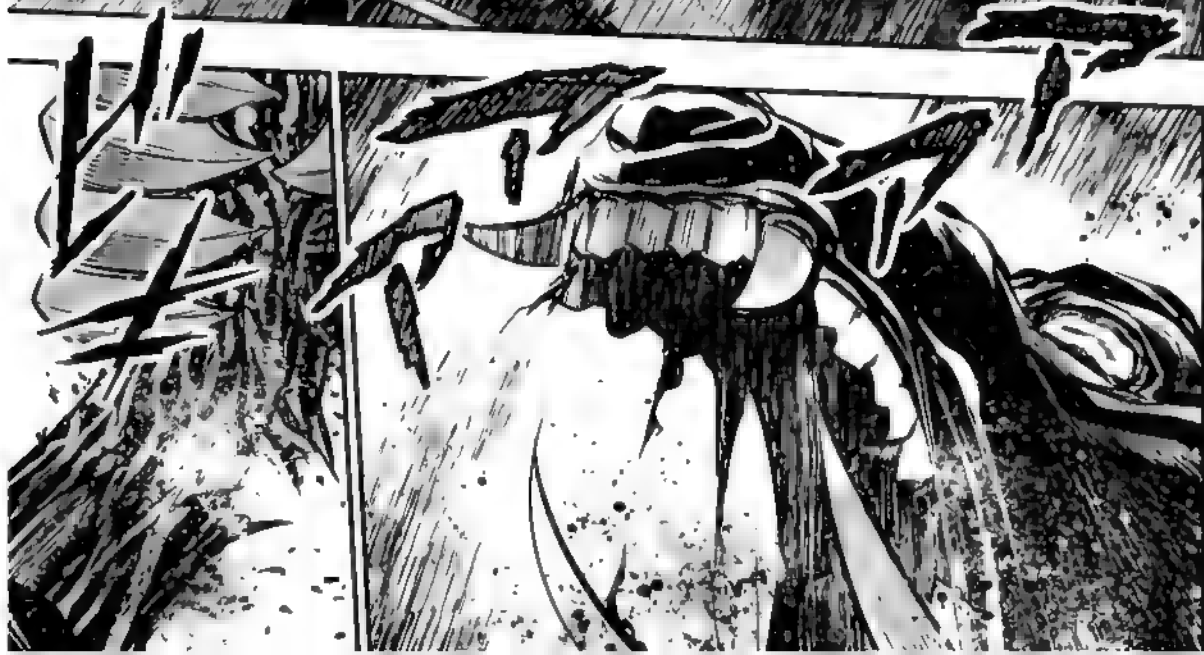
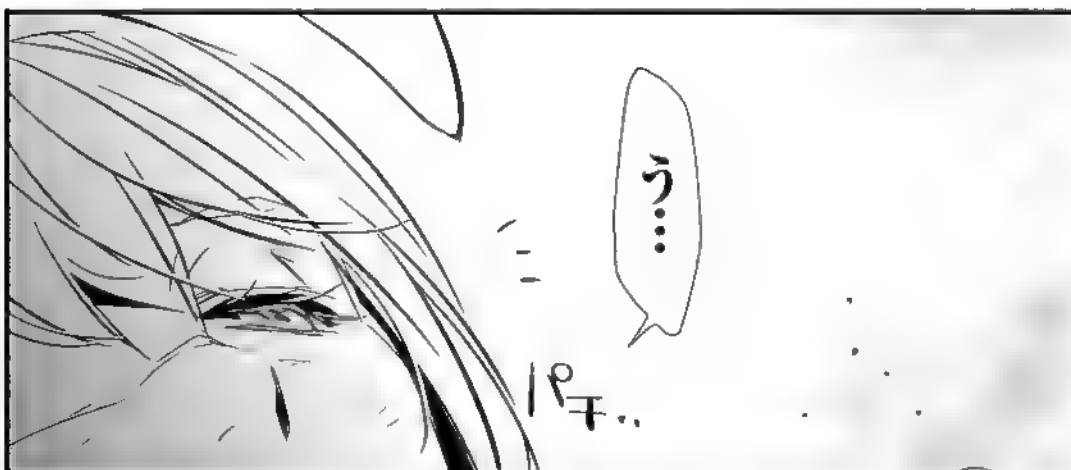
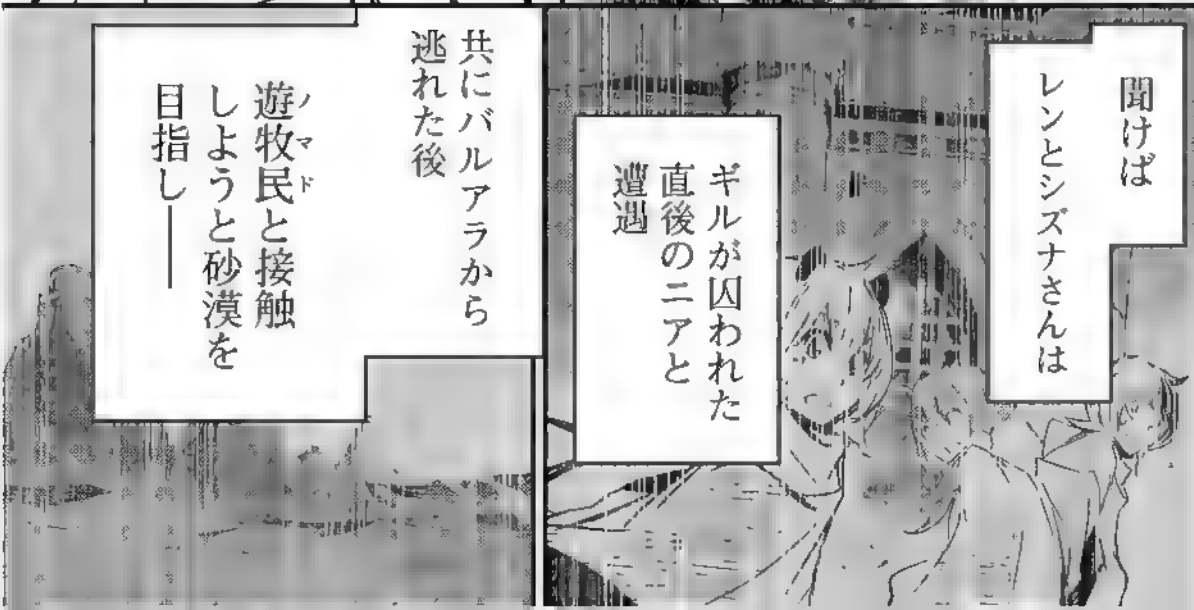
ばるん

わあっ!!

ぶるん

アルディア
さまあ〜!!
皆……!!
ありがとう カイ!!
皆を…

皆を助けてくれて…!!
ぐしゅ
無事に終わってよかった
うんっ
カイ!!
ギ

ニア!!
レン!!
無事だったのか!!
ファサ
アーシャ!?

旦那様
そ…
遅くなってすみませんでした…
お前が無事だったのならいい
聞けば
レンとシズナさんは
ギルが囚われた直後のニアと遭遇
共にバルアラから逃れた後
遊牧民（ノマド）と接触しようと砂漠を目指し——

そこで…
女子供だけが
残っていた
ザバル族のキャンプに
辿り着き
彼らに手を貸しつつ
再びバルアラに
潜入する方法と
機会を探っていた
そうだ
おお
君も無事
だったのか
よかった
ニア君
ビキ
へーんだ
ギルを
売り渡して
あたしを拷問にかけようとした
クセに
こいつ…

カイ君の手伝いをしたことで
ニヤ
帳消しにしてくれないかな
ビキキッ
スゥ…
チャ…

色々ありがとうございました
そ…

おかげでこの騒動も一件落着しそうです
うーん…それはどうだろうな

?
戦いは
勝つことより終わらせることの方が何倍も難しいからね

まあ無事にすべてが丸く収まることを祈ってるよ
それから
ヒリ…

君の正体は報告せず僕の胸に止めておく
ドキ

ニッ
ビシッ
――これは一つ貸しだ
覚えておいてくれたまえ
う…

最後までヤなヤツ!!べーだ!!
びー!

……………
しかし残念なことに
このビクトリアスの不吉な予言(?)は

それは王宮と遊牧民の代表による

シンシャールの今後についての協議の席上でのことだ

シャー・ヤムリカは未だお目覚めになっておりません

ですので僭越ですが私が進行を務めさせていただきます

お待ち下さい シエラ陛下

その料理人は いったいどういう 立場でこの場に おられるの でしょうか

ですよね〜〜〜

この者は 私の神妃(アンブロシア)としての 力でラーフとなり

叛乱を無血で 終わらせた 立役者だ

それで十分 だろう!!

つまり…族長殿の 乳を吸った功績と?

それは失礼で ございますよ

将軍

失敬

きっと 砂漠の流儀 なのですな

立場上 おれはグレイとして ここに出ることは できない

それでもと
頼まれたから
のこのこ顔を
出したのだけれど
……
アルディア
やっぱり
おれは――

この者は
私の婚約者で
未来のザバル族長
となる者だ!!
ならば
問題あるまい!!

これが証拠だ!!
!?
グイ
……!!

!!!
ドドド
あが
ガーン

文句あるか!!?
ぷし～～…
グイ

気を取り直して——

市街では遊牧民(ノマド)への差別が酷(ひど)くなっている

おっちゃんこのナツメヤシ美味そうだね10個ばかりおくれよ

ガヤ
ガヤ

遊牧民(ノマド)にうちに売るモンはねぇよ
遊牧民に売るモンはうちにはねぇよ
え…!?
とっとと帰んな

このあたりにお前達にモノを売るヤツはいねぇよ

まあ…致し方ありますまい
何日にもわたり市街を占拠した挙句(あげく)貴族街では狼藉(ろうぜき)を働いたのです

たしかにやり過ぎました
しかしそもそもあなた方が遊牧民を差別したからで──

いやそもそも論で言うならお前達は常に
我々を砂漠で生きられぬ弱虫として蔑んできた!!
その報いだ!!

互いの妥協点も見出せぬまま

遊牧民と定住民の溝の深さをより鮮明に浮かび上がらせるだけの結果になっているのだった──

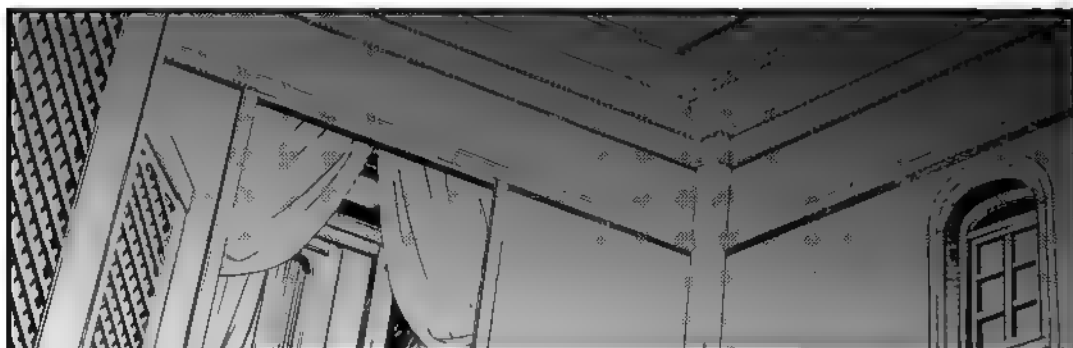
戦争は
終わらせることの
方が難しい
か……

考えてみると
いままで
ほとんど
後始末は他人任せで
次の任務に駆り出され
てたもんな…
ばたん

何か良い
解決策が
あると…
くあ～…
…いい…けど…

しっ……

シエラぁ!!?

来ちゃった♡
ペろ
ちょまっ!!
てかなんで
ハダカ!?
っていうか
どうして
こんな
あわわ
やきもちです
…?
んむ
アルディアとキス
してるのを見て…
ちょっと
モヤっとしちゃって
……
あ
あれは
不可抗力で
―
わかってます

だから
ラーフの教えに
則って
私も等しく
…愛して
欲しい…の…
シエラ…
ねえさま？

!!!
アルディア…!!?
ほっ
二人が仲良くてよかった
昼間無理やりねえさまの前であんなこと…しちゃったから……
!?

もじ♀
大丈夫
怒ってないから
ねえさま…
あなたもいらっしゃい
がばっ
うん!!!
え?

可愛がってね
カイ…
わ 私も…
ねえさまの次
第二夫人で
いいから…!!
ちょっ
まっ
ええ〜〜〜!!?

いるか主殿ッ!!!
!!!
……………
こっ
これは
そのっ
そういうのじゃないから!!

…別に いまさら言い訳など不要だ
そっ それで…報告って？
周辺諸国の動向を探れ――と そういう話だったろう
そのために送り込んだ間諜から報告が上がってきた
南のヌビア王国 西のクシェ王国
〝双方十日と待たずにシンシャールへの侵攻を開始する可能性が高い〟
とのことだ
え…!!

【神獣ハルドラ】

砂漠の神ラーフは、その娶った妻の数の多さが有名だが、従えた使徒もまた数多くいたと言われている。その沢山の使徒たちの中でも、最も有名であり、ラーフの伝説の中に度々登場するのが、神獣ハルドラと呼ばれる使徒である。

伝説では、砂漠の彼方のオアシスに住む獣であり、ときおり人前に現れては遊牧民(ノマド)のキャラバンを襲ったりしていたが、その悪行が過ぎたためラーフに調伏され、死の間際に改心したハルドラは、以後ラーフの忠実な使徒となり、獣人を操る力を持つ非常に大きな角と、人の姿に変じる力を授かったとされている。

その子孫とされる遊牧民(ノマド)の一族は、現在も有力部族の一つであり、その長は現在でも神獣の姿に変じる力を有しているという。

【シンシャールの周辺諸国】

ランドルール列強による植民地分割がはげしく“ローレンシアの火薬庫”とも呼ばれる大陸中部において、とりあえずの独立を保っている国家はさほど多くはない。筆頭がシンシャールであり、それに次ぐ国力を持つのは、シンシャールと海峡を挟んで南に位置する山岳国家ヌビア、そして内海沿いに西に存在するクシェである。王が神と同一視され神権政治を行うヌビアは強固な王権を持つ一方、厳格な身分制と強固な宗教的禁忌が、長く近代化を阻害してきた。また、住民のほとんどが黒い肌の獣人たちであるクシェは、小さなオアシス国家の連合であった時期が長く国家として統一されたのは最近のことであり、双方とも列強の侵略を避けるため、ここ数年は必死になって国力の増強を図っている。

Nectar
of divine
curse

第65話／民族の架け橋

その中でも
近年になって
列強による植民地化を
回避しようと国力増強を
図っているのが

南の山岳国家
ヌピア

西のオアシス国家
クシェである

――で この辺の国々は

長年シンシャールに従属を強いられてきたわけだけど――

今回の内乱騒ぎの混乱と

列強が一時的に手を引いたいまの状況に乗じて

シンシャールに逆襲しようとしているわけだ

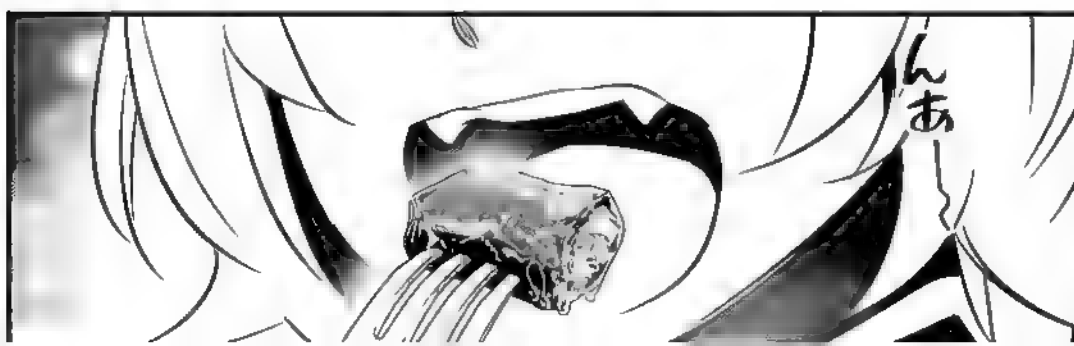
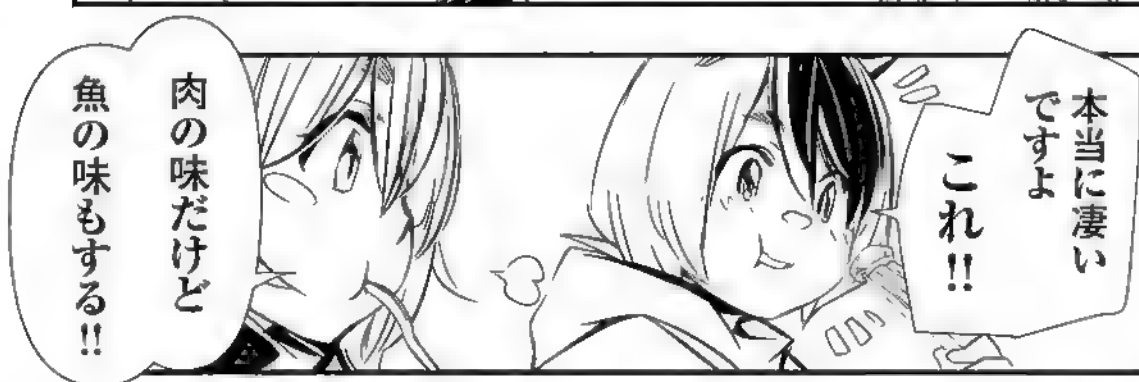
ジュウウウ

でも
植民地化されない
よう必死な国に
してみれば
当然のやり方とも
言えちゃうの
…残念だけど
うう…
さあ
できた
とりあえず
みんな食べてよ
お腹が減ってると
悲観的になるし
んあー

ん～～～～～!!!
ふー
ふぅ～～
どうだ
カイの
〝はんばーぐ〟は
美味かろう!!!
エヘン
本当に凄い
ですよ
これ!!
肉の味だけど
魚の味もする!!
両方が
混ぜてあるの
肉好きの私と
魚好きの
シエラねーさまが
両方おいしい
ようにカイが
発明してくれた
のさ!!

ワイ

しっかし

見た目通りじゃないだろうと思ってたけど——

アルビオンの軍人さんに遊牧民（ノマド）の族長さん

トドメにシエラは女王さまかい

ヒッ

サリアさん どうか僕らの正体は内密に……

わかってる こういう商売だし秘密は守るさ

あんたたちのおかげで 一応 街も落ち着いたしね

あくまで一応で申し訳ないんですが

でさ 正直 いま攻められたらどうなるの？

ふぃー…

ケプ

シンシャールに勝ち目はないね
なにしろ
内乱のせいで正規軍も遊牧民（ノマド）軍も疲弊しきってるうえ――
遊牧民（ノマド）と定住民（ハダル）の反目は過去最悪――
国が真っ二つに割れている状態だからな
そうなんだよねぇ…
まったく…
裸になって抱きあっちまえば遊牧民（ノマド）も定住民（ハダル）もみーんな一緒なのにねぇ

街では羊を食べないし
砂漠では魚を食べない
──だけど二つが合わさるとこんなに美味しいんだ
この国の人間も手を取り合えれば簡単には負けたりしないだろうに…
でも──二つのクセの強い素材を調和させているのは
タルガというスパイスなんです
それなしにはお互いの臭みが喧嘩して酷い味になってしまいます

でも大丈夫
きっと なんとかなるよ!!!
お腹いっぱいに なったし あとはよく寝れば いい案も 浮かぶって!!
…だね 落ち込んでても しょうがないし
——ところでさ サリアねーさん
ここ娼館って ことは お風呂使えたり する？
そ!!
砂漠じゃ たまの 水浴びが精一杯 だったたから どーしても 入りたくて

もちろんさ
自由にどうぞ
ピコン
折角だから
みんなでお風呂しよーよ!!
ほら
シズナも行こ!!
ぬるいお湯なら大好きなんでしょ!?
でも私は——
いーよね
ギル?
好きにしろ
やほーい
いーなー
お風呂
ワァワァ
ドタタタ
ニアがいると
空気が重く
ならなくて
助かるよ
そうだな…

主殿(あるじどの)
久々に
剣の稽古(けいこ)は
どうだ？

…!!

こっちに来てから
稽古なんか
できなかったから
――

すっかり
ナマってるよ
それは
先の広場での
体(てい)たらくを
見れば自明の
ことだ
少し痛い目に
遭(あ)ってでも

たたき直させて貰う
いいな 主殿

お手柔らかに頼むよ

ほう……
いまのを受けるか
なまってるなりに必死だからね
ギ
ギャリ
――でギル
話は何だい？
……!!
なぜわかった？
言いたいことがあるって顔に書いてあったからね
ギャリ

俺が聞きたいことは一つだ
アルディアから呪乳(ネクタール)を受けたとき――
なぜグレイの変装を解いたのだ?
……!!

アルディアの乳を吸ったとき
グレイの姿のままだったら
ラーフの力で叛乱を治めた英雄はグレイとなった
名にし負う軍神グレイだ
遊牧民(ハマド)も定住民(ハダル)も
多少の反感はあっても最後には従っただろう——
ガッ

そうなれば
今のように

国が割れるような
こともなかった筈だ!!!

でもおれ
それは……

それだけは
したくなかった
んだよ

おれが元いた
世界でも

いまのアルビオンや
ダーラのような
強国が――

世界各地に進出して
国力の劣る異民族の国を滅ぼし
植民地化していった時代があった――
その植民地獲得競争の結果 引き起こされたのはなんだったと思う？
ギ…

二度にわたる
世界大戦さ
……!!
世界中で
戦火が交わされ
多くの人が死に
消えない傷痕が
残った
そして
大戦の火種となった
無茶な植民地の併合や
国境の線引きは
70年経ってなお
燻りつづけて時に
悲惨な紛争を
引き起こす……

強国が力で
他の国を支配しても
結局最後には
破綻する
国は英雄のもの
じゃない
その国の住民たちが
自ら選んで
創り上げるもので
なければならない
──
ザッ
おれは!!!

それを知ってる!!!

ザリッ
だがそれは
将来の話だ
ドッ
シンシャールはいま
英雄を欲している
さもなくば国が
滅ぶのだぞ!!
わかってるさ
——だとしても
それはグレイじゃない

アルディアも無理だ
無論ヤムリカも――
必要なのは定住民(ハダル)と遊牧民(ノマド)をつなぎ合わせ
しかし決して自分が主役とはならない
タルガのような存在なんだ…
フン
そんな掴(つか)み所のない話…
ズ

もともとおれ…亘理塊って人間は――
――!!!
は…はは…
はははははは!!
そうか…
それなら…!!

隊長──じゃない
カイさん！
いま城から
報せが!!
タタタッ
ピク…
ヤムリカ女王が
目を覚ました
そうです!!

ポリ
うーん…
まさに天佑──か

ギル
どうやら勝負の
ときみたいだ
おれに
力を貸してくれ

陛下
無事お目覚めになられたとのこと
心より安堵しております

お側に寄っても？
……来るな
来てはならぬ
ギル

病に伏せり変わり果てた姿…お前には見られとうない
承知いたしました
ではそのままお聞き下さい
遊牧民（ノマド）による市民の虐殺を喰い止めた第一の功労者から
陛下にたってのお願いがあるとのことでこの場に参上させました
…聞いておる
あの料理人じゃろう？好きにするがよい
……望みは金か？
女か？
貴族に列してもよい
なんならいっそ王位をくれてやろうか？

なぜなら
おれの望む
褒美は

貴女だからです
陛下

どうか
俺と結婚
してください!!!

酔狂な男よ!!
ならば我が姿を見るがいい!!
痩せ衰えた醜い姿を見てなお
同じことが言えるか!?

『神呪のネクタール』第⑭巻／完

神呪世界紀行

【カイ・ワタリ流『ラムと鰯のハンバーグ』レシピ】

《材料》ラム肉（部位は肩ロースメイン）…200g／イワシ…4尾／玉ねぎ…小1個／ピンタ粉（※シンシャールに独特のパンを荒く粉状にしたもの）…15g／羊乳（ヒツジの乳）…50cc／にんにくすりおろし…10g／塩…3g／タルガ…2g／羊乳バター…10g

《作り方》① 玉ねぎをみじん切りにしたのち、バターでじっくりと炒める。きつね色になったらタルガを加え、香りが立つまでしっかりと炒めた後、熱が取れるまで充分に冷ます。
②冷めるまで待つ間に、ラム肉を叩いてミンチにする。
③イワシは頭を落として手開きにし、中骨を外してから皮を引き、荒く叩く。
④ラムとイワシのミンチを合わせ、そこに冷めた玉ねぎのみじん切り、ピンタ粉、羊乳、にんにくすりおろし、塩を加えて練り混ぜ、ハンバーグのタネを作る。
⑤楕円形にまとめたらの片手から片手へ投げるようにして空気を抜き、中央にかるく窪みをつくる。
⑥フライパンに分量外の油を引き、タネを入れて片面を2～3分焼き、焼き色がついたらひっくり返してフタをして、7～9分ほど弱火で蒸し焼きにする。
⑦串を刺し、透明な肉汁が溢れてきたら火から下ろす。

（※なお、ソースはカイもまだ試行錯誤しており、とりあえずはヤシマノ国から輸入した醤油を使った、おろし玉ねぎソースで提供していた模様）

Nectar of divine curse
Illustration gallery

あとがき

　前巻から数ヶ月のご無沙汰です。
『神呪のネクタール』第14巻、手にしていただき本当にありがとうございます！

×　×　×

　さて、前巻のあとがきにて『この巻でシンシャール編完結！』などと書いておりましたが、すみません終わりませんでした……。
　なかなか予定通りには行かないものですが、民族紛争や内戦に、大国が自国の利益の為に介入し、無理矢理解決したためそれが後に大きな禍根を残す——というのは現代の世界でもままあることで、このシンシャール編も、あまり簡単には片付けてはいけないのではないかという気持ちもあり、カイには当初の想定より、かなりいろいろ苦労してもらう展開となってしまいました。ごめんよカイ。あと読者のみなさまにも。不甲斐ない原作者でホントすみません。

×　×　×

　——しかし！　今度こそ嘘偽りなく、次巻にてシンシャール編は完結します（ラストのお話を書き始めてるところです！）
　痩せていきなり美女と化したヤムリカはどう動くのか!?　カイの突然のプロポーズの真意は!?　そしてシンシャールと、そこに暮らす人々の運命は……!?
　全ての決着は次巻にて！　前回の繰り返しになりますが、こんどこそ本当に、いろいろと気持ちよいラストをお約束しますので、引き続き応援の程、何卒、よろしくお願いいたします！

　長月某日　吉野弘幸

砂の神(ラーフ)の力を得て
カイ、虐殺を
止めろ!!
長年の怒りが
爆発し、遊牧民(ノマド)の暴徒が
シンシャール王宮になだれ込んだ!
アルディアの呪乳(ネクタール)によって
砂の神・ラーフと化したカイが
立ち向かう!

神呪のネクタール
しんじゅ
14
原作 吉野弘幸
漫画 佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

神呪（しんじゅ）のネクタール⑭

2022年11月1日　初版発行

著　者　　吉野弘幸（よしのひろゆき）・作

佐藤健悦（さとうけんえつ）・画

発行者　　牧内真一郎

発行所　　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　　大日本印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-32004-7

デジタル版　2022年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com